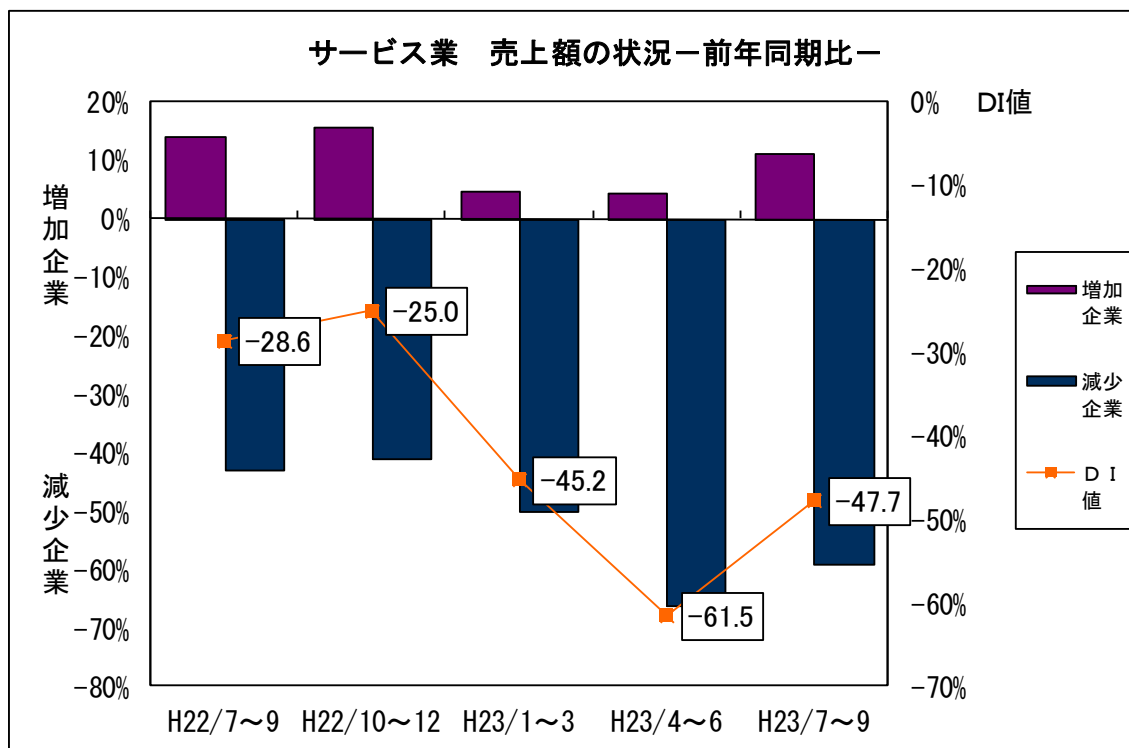


(2) 主要項目の概況

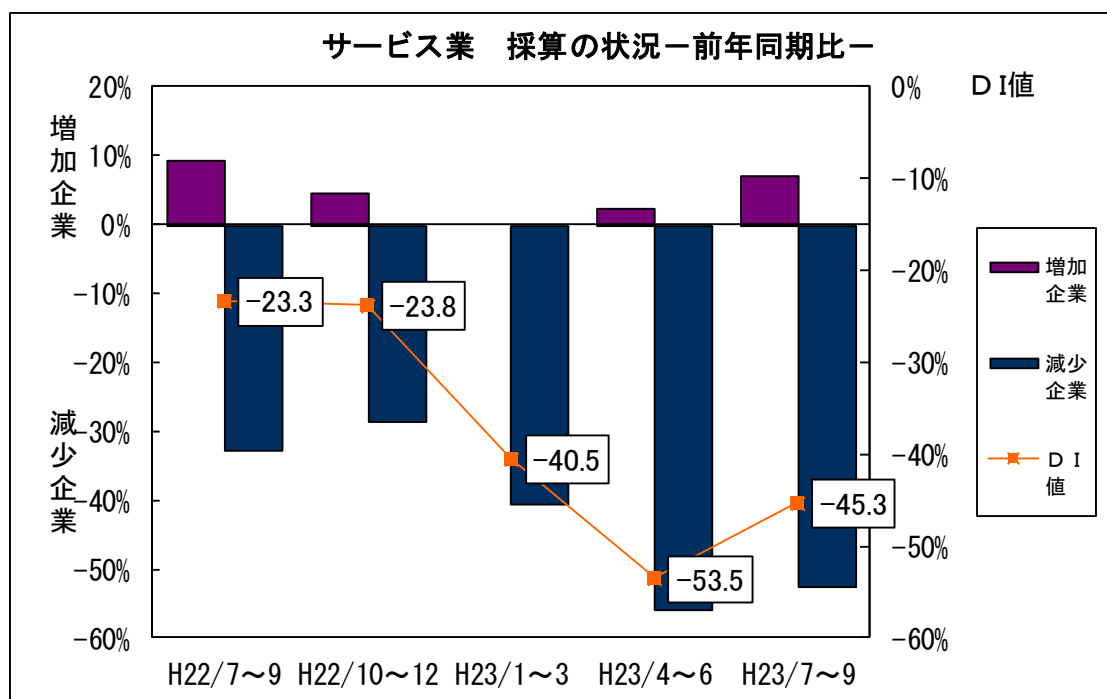
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額DI値は、マイナス47.7。前期のマイナス61.5から13.8ポイントの上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス47.8とほぼ横ばいの見込み。



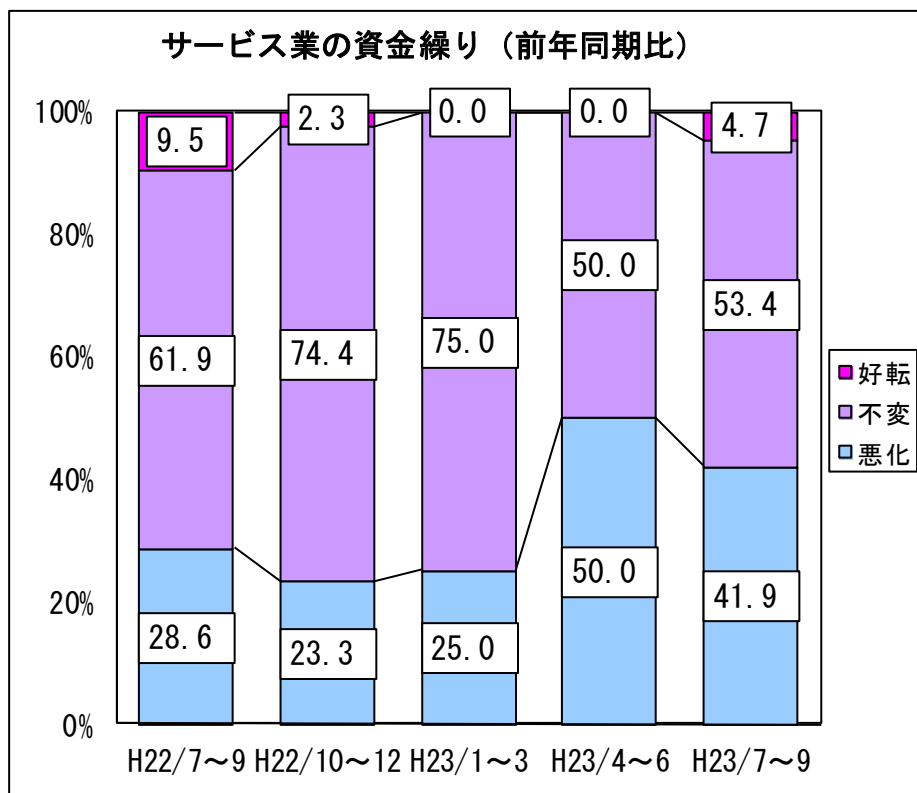
②採算（前年同期比）

今期の採算DI値は、マイナス45.3。前期のマイナス53.5から8.2ポイント上昇し、回復。来期見通しは、マイナス39.0とさらに回復の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 37.2。前期のマイナス 50.0 から 12.8 ポイント上昇、大幅に回復。来期見通しはマイナス 34.9 と回復の見込み。

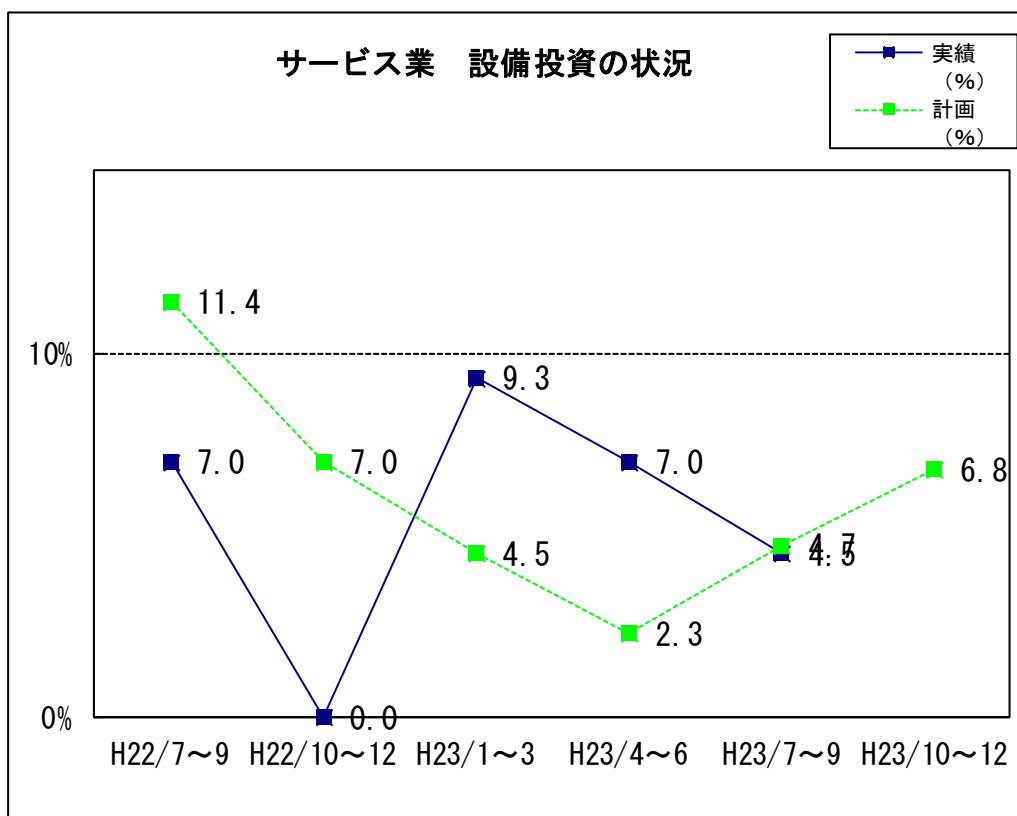


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	建物	サ ー ビ ス	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数)	3	0	0	1	0	0	0	0	2	40
(%)	7.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	93.0
今期実施 (実数)	2	0	2	1	0	0	1	0	0	42
(%)	4.5	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	95.5
来期計画 (実数)	3	0	0	1	2	1	0	0	0	41
(%)	6.8	0.0	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	93.2

今期設備投資を実施した企業は2社(4.5%)。前期(平成23年4~6月期)の実施企業3社より1社減少。来期は3社(6.8%)がサービス、車両・運搬具、付帯施設への投資を計画している。

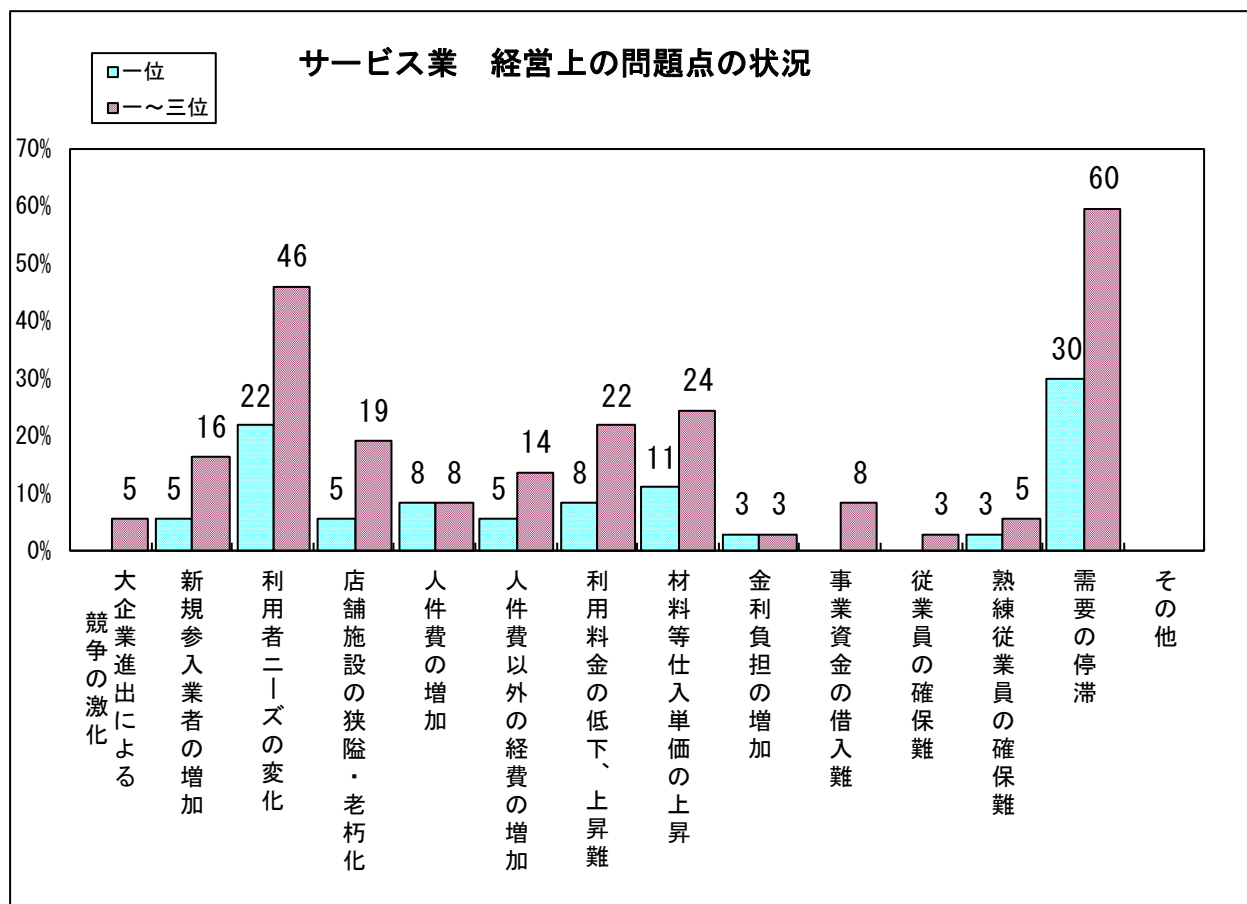


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 61.1%→今期 59.5%)
- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 38.9%→今期 45.9%)
- ・ 「材料等仕入単価の上昇」 (前期 33.3%→今期 24.3%)

となっている。



以上